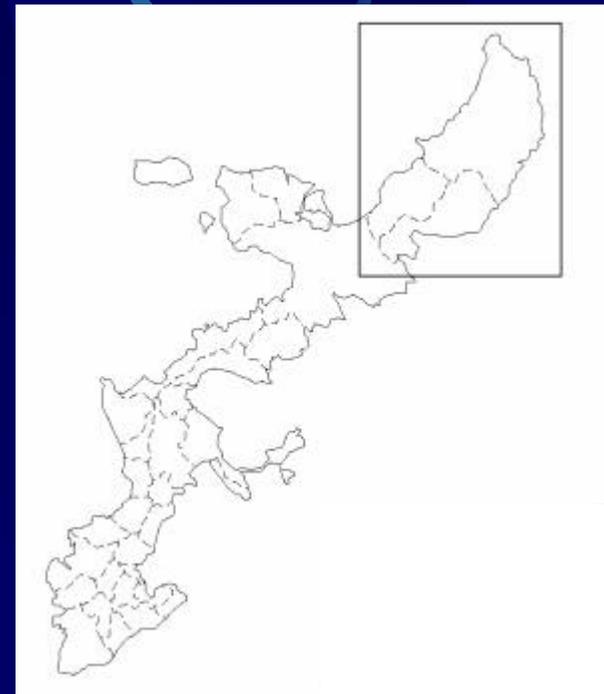


# 沖縄本島におけるマングース導入の経緯

- ハブやネズミ類の駆除を目的として、1910年に13～17頭が沖縄島に導入された(岸田、1931)。
- 1950年代に県内行政機関、個人によって、名護以北の北部地域へ積極的に移入された。



# やんばる地域における 主な被捕食動植物

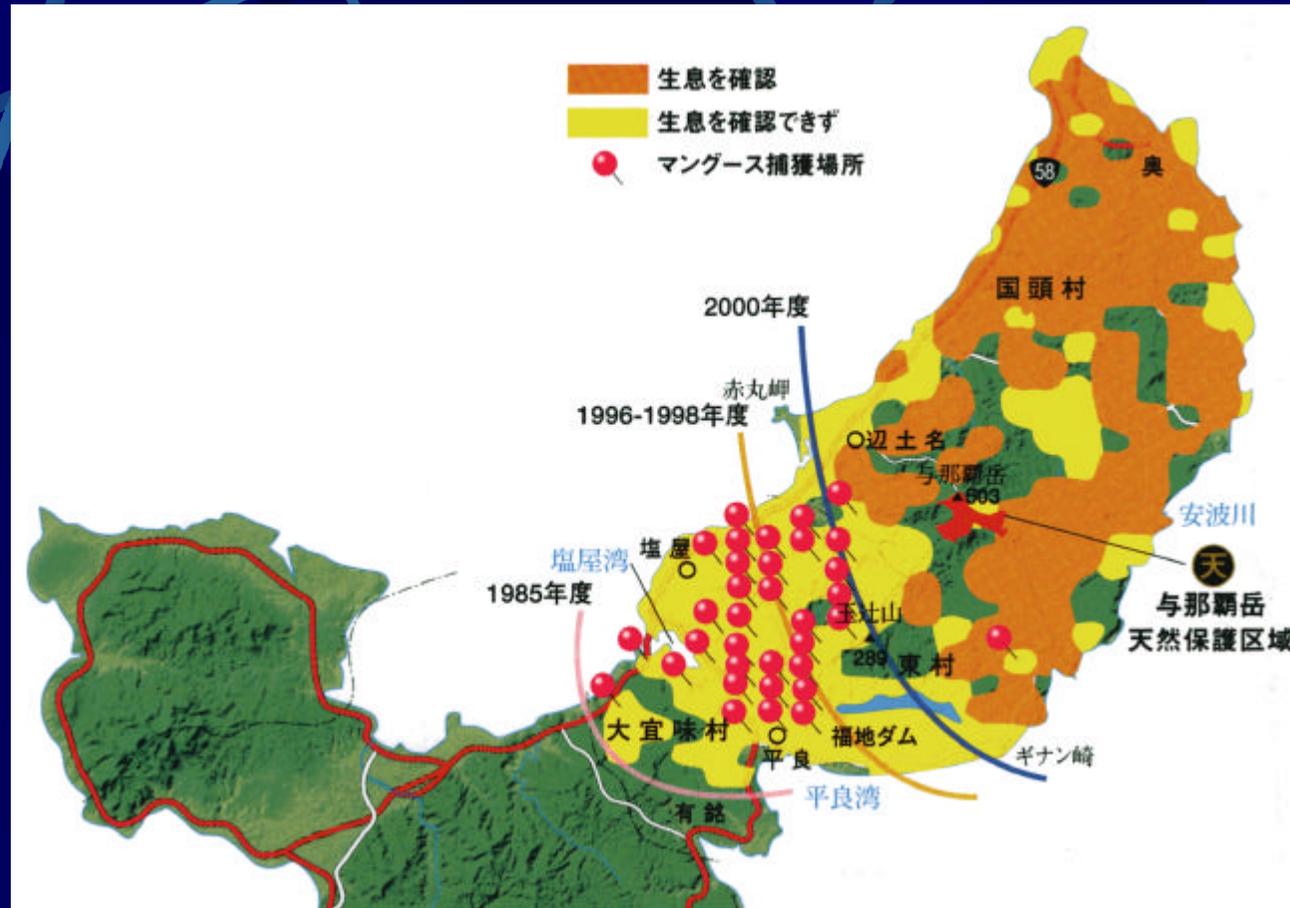
- 哺乳類  
ケナガネズミ(EN)
- 鳥類  
ヤンバルクイナ(EN)  
アカヒゲ(VU)
- 昆虫類・植物等



出典：週刊日本の天然記念物  
動物編20(株小学館)

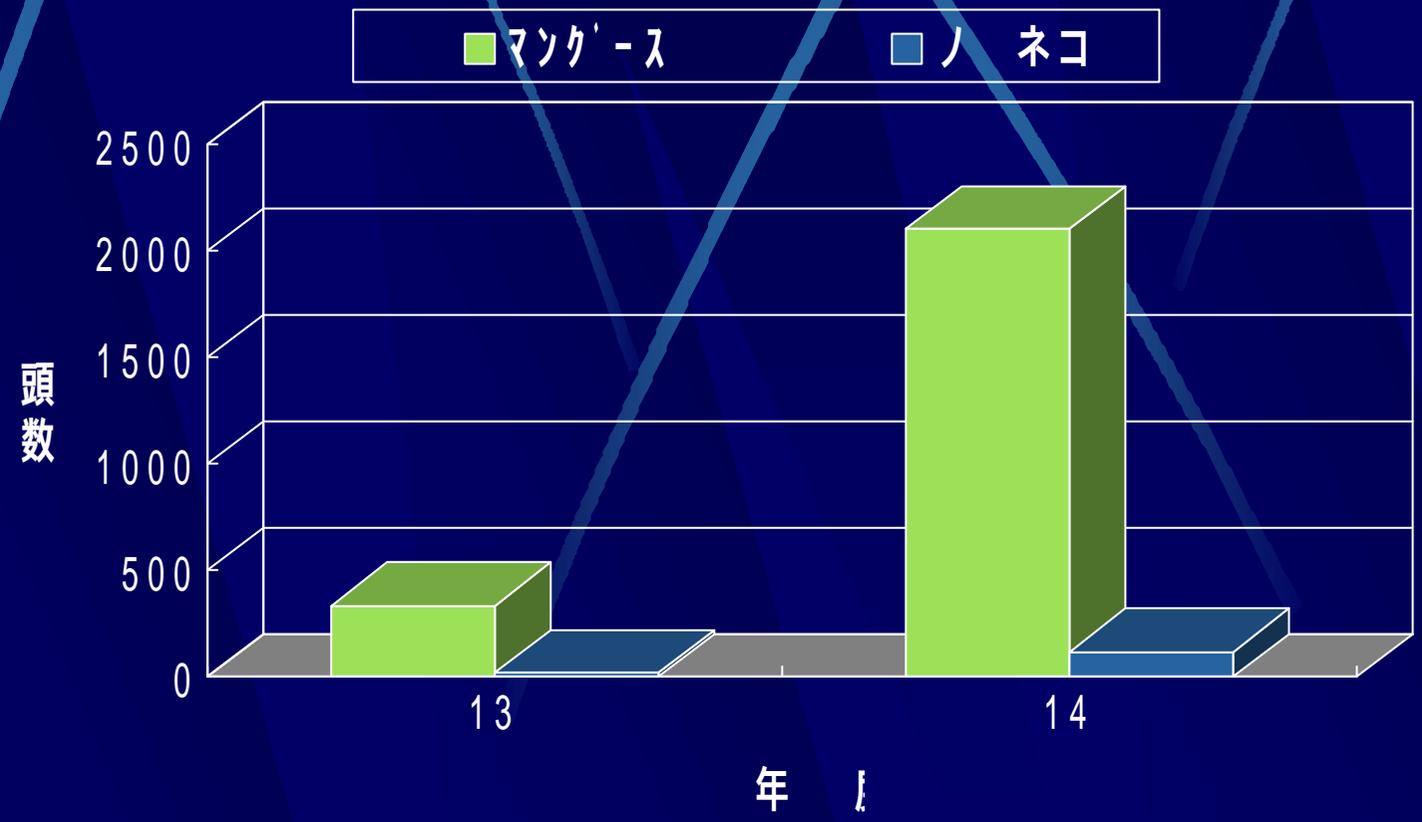
EN 絶滅危惧 B類  
VU 絶滅危惧 類

# ヤンバルクイナの分布状況



出典：週刊日本の天然記念物動物編20（株小学館）

# やんばる地域における マンゲース等捕獲頭数



# やんばる地域における課題等

- 大宜味村塩屋ー東村平良 (STライン)以南で繁殖した個体の北上。
- ノネコ発生や地域外からの捨て猫。
- アライグマなど新たな移入動物。

# 西表島におけるモニタリング事業

- オオヒキガエルが石垣島から**非意図的** (建設資材等) に導入。
- 西表島**固有の昆虫類の捕食**及びイリオモテヤマネコがオオヒキガエルを捕食した場合、**耳線にある毒の影響**が懸念。
- 港湾・水路等において**モニタリング・捕獲**を実施

